

# 【小施策評価(平成30年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	文化国際室	
施策	12	芸術文化の振興	評価 責任者	佐藤 篤	内線 2110
小施策	12-2	文化施設の整備と活用	評価 シート 作成者	小山 訓	内線 2111

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
・文化会館は各施設とも建設から15年以上経過しており、設備も老朽化してきていることから、安全・快適で機能的な活動環境の提供に当たっては、適正な管理運営と計画的な施設設備の修繕や更新に努める必要がある。また、寄贈を受けた多数の市所蔵美術品の管理や有効活用を図る必要がある。 ・芸術文化活動の振興は、長期的かつ継続的な視点に立った展開が求められることから、目標に向けて計画的に事業を展開する必要がある。		文化施設利用者へのサービス向上のため、計画的に設備の更新、修繕を実施する。また、市民の自主的・創造的な芸術文化活動が活発に行われるように、文化施設の活用を図る。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
芸術文化施設		芸術文化活動の場として、より活用が促される。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析
指標① 文化会館平均利用率	%	↗	当初値 (H25) 72.3   R1目標値 73.5   R6目標値 75.0		
			・昨年度に比べ平均利用率が上昇し、目標値を超えた。		・利用調整会議による利用団体間の調整が利用率向上に貢献している。 ・昨年度に比べ利用日数が増えており、演劇や音楽に関する利用件数が増えた施設もあり、芸術文化活動の場として活用されたため。
			問題点	⇒	問題の要因分析
			・他施設よりも利用率が低い施設がある。		・立地条件が影響しているため利用率が低い施設があることから、利用率向上に向けたPRと他施設で人気を博した事業を参考に公演団体の誘致が必要である。
指標② 文化会館利用者数	人	↗	当初値 (H25) 432,906   R1目標値 440,000   R6目標値 450,000		
			・昨年度に比べ利用者数が35,092人増加した。		・鑑賞事業数は昨年並みだったが、人気作家や著名人の展示会の開催があり、県内外から多数の来場があった。
			問題点	⇒	問題の要因分析
			・施設の経年劣化に伴い、設備の更新や修繕が必要となっており、随時可能な範囲での修繕を実施しているが、故障・不具合が発生してからの対応となっている。		・文化会館の舞台設備等は、特殊な設備であるため多額の費用を要するため。

## 今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 平成29年度末に策定された芸術文化推進指針に基づき、6月末までに芸術文化推進計画を策定する。</li> <li>★ 上記計画において、新たに取り組むこととしている重点的取組について、年度別計画により取り組んでいく。</li> <li>☆1 芸術文化に関するポータルサイトを立ち上げ、芸術文化団体等の活動や発表場所となる施設の情報提供に取り組んでいく。</li> <li>☆2 文化会館の自主事業について、芸術文化に親しむ機会を増やせるよう、文化会館利用者だけでなく、広く市民のニーズが把握できる調査方法を検討する。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 修繕の整備計画を策定するため、平成29年度は盛岡劇場及び都南文化会館、平成30年度は市民文化ホール及び洪民文化会館の舞台設備更新調査を実施した。平成31年度は調査結果を基に、5年程度を目途とする舞台設備改修計画を策定する。</li> <li>☆1 芸術文化推進計画の年度別計画に基づき、令和2年度は予算要求し、令和3年度からの実施となるよう努める。</li> </ul>	